

★読書旬間★

1月31日から実施予定だった読書旬間は延期になりました。まん延防止の措置が解かれれば2月中旬から実施できると思います。子供たちが読書に親しむ機会が減らないよう声をかけていきます。

今回の読書旬間では、1～4年生はおすすめ本紹介カードを書き、5、6年生は、芝生の上でかがやき班での読み聞かせをします。子供たち同士で本の良さを感じる時間を大切にしていきたいです。

読書旬間中は、親子読み聞かせ、本のおすすめなど、ご家庭でも本に触れる機会を設けていただければ嬉しいです。



写真: 昨年度のもの

★ふれあい月間★

新宿区では、子供同士の友人関係や日頃からの教員の指導の在り方を見直す機会として6月、11月、2月を「ふれあい月間」と位置付け、人権教育や心の教育等を推進するとともに、いじめ、不登校、暴力行為等の問題行動及び教員の指導の状況について、現状や取り組みの効果等を把握するための調査を行っています。各学級で「自分のこと」「友達のこと」「先生のこと」について、アンケート調査を実施し、その中から気になること等があった時は、聞き取り調査も行い、早急に対処できるようにしています。

★金管バンド演奏会★

まん延防止等重点措置が始まるのが急ぎょ決まったため、1月19日(水)と20日(木)の昼休みに、校内演奏会を開きました。最初、この話を聞いた子供たちは、戸惑っていましたが、これが最後になるかもしれないという気持ちを胸に、今まで練習してきた成果を出し切ることを決めました。

当日の中休みの短い時間にリハーサルを行い、金管演奏では「聖者の行進」と「ルパン3世」、器楽合奏では「テキーラ」と「Dynamite」の4曲を披露しました。どの曲も練習途中でしたが、本番では上手に演奏することができました。特に「テキーラ」では、聴いている児童や先生方にも一緒に参加していただき、「テキーラ!!」という声が体育館中に響き渡り、楽しく演奏することができました。

もし、スプリングコンサートが実施できれば、全7曲を演奏する予定です。コロナ収束を願って、再び頑張っていきたいです。



落五スクールライフ1月

●書初め展 (全) ●

学校公開が中止の中、書初め展については開催することができました。子供たち一人一人の気持ちのこもった字を見ていただくことができたと思います。足を運んでくださった保護者の皆様、ありがとうございました。



●生活科 冬をたのしもう (1年) ●



凧あげをして、冬を楽しみました。好きな絵を描き、自分だけの凧を作りました。良い風が吹き、子供たちの凧は高く上がりました。

●義足体験 (4,5,6年) ●

体験では、慣れない義足に苦戦している子もいましたが、義足の素晴らしさ、便利さを肌で感じる事ができた良い時間だったと思います。



落五の仕事人

今回ご紹介する落五の仕事人

人は、図書館スタッフの平原雅子さん、図書館支援員の甲野智子さんです。平原さんは月曜日勤務、甲野さんは水曜日と金曜日勤務です。図書館の時間の読み聞かせや学習で使いそうな本のピックアップ、季節や行事に合わせた図書室内のディスプレイ、蔵書の点検や新書の購入などの仕事をしています。お二人とも子供と接する時に、「どんな本を読みたいか会話しながら情報を集めたり、児童の顔を思い浮かべて選書してあげたり…」「今どんな本に興味があるのかフランクに話しかけるようにしたり…」「図書室での時間を気持ちのいい時間にしてあげたい」と心がけているそうです。「読書と共に児童の成長が感じられ、歴史が見られることがありがたい」「おすすめの本を読み、感想を伝えてくれたり、子供から子供へ勧めてくれたりするのがとても嬉しい」と、落五小で仕事を続けられることに、とてもやりがいを感じているそうです。

これからも落五小のために、よろしくお願ひいたします。



